**第6回登別市総合計画第4期基本計画市民自治推進委員会
まちづくり部会 議事録**

●開催日時 : 令和6年12月19日(木) 18時30分~19時40分

●開催場所 : 市役所 第1委員会室

●出席者

部会長	山田新一
副部会長	寺山義民
部会員	川人文男 伊藤雅章 鳴海文昭 山口賢治
庁内検討委員	部会長: 笠井康之 副部会長: 大内拓海 部会員: 大澤玲裕 藪中順一 菊地 徹 有馬亮太
事務局	企画調整G: 近間聡史 服部将大 原田和穂 市民協働G: 鳥海秀充 新関麻亜子

●欠席者

部会員	佐久間将之
-----	-------

- ◆議 題 : ①協議テーマ「行財政運営」の振り返りについて
②他部会の意見まとめについて
③第4期基本計画の体系図(案)の振り返りについて
④主要な施策の考え方(案)の振り返りについて

- ◆配布資料 : (1) 市民自治推進委員会~他部会の意見まとめ~
(2) 第4期基本計画体系図(最終案)【対照表】
(3) 第4期基本計画体系図(最終案)
(4) 主要な施策の考え方(案)【対照表】

【まちづくり部会】

議題1 協議テーマ「行財政運営」の振り返りについて

(部会長)

本日は、お忙しいところご出席いただきありがとうございます。

それでは、議題(1)「協議テーマ「行財政運営」の振り返り」についてですが、

1 1月7日に開催されました本部会にて、事務局よりお示しいただいた協議テーマ「行財政運営」に関する第4期基本計画体系図の素案の設定について協議し、さまざまなお意見をいただきました。

皆様のご意見については、事務局の方で持ち帰り、市の庁内検討委員会で体系図等にどのように落とし込んでいくかなど協議していただいています。

その協議結果について、事務局でまとめているとのことですので、説明をお願いします。

(事務局_企画調整 G)

1 1月7日に開催しました本部会にて、皆さんからいただいた意見等を踏まえた協議結果について、事務局より説明いたします。

体系図については、委員の皆さんから承認をいただいているため、前回お示しした内容のとおりとなっています。

続きまして、「主要な施策の考え方」についてですが、第3節－施策Ⅱ－基本的な方向1－主要な施策「①公平・公正な行政運営と持続可能な財政運営」では、第3期基本計画の主要な施策の考え方に「市税等の自主財源の確保」とありましたが、「市税等」に限らず、その他の自主財源の確保について記載するのはどうかという意見がありました。

「主要な施策の考え方」の具体的な文案につきましては、皆さんの協議結果や第3期基本計画策定後の社会情勢の変化、今後10年間の展望を踏まえて、2月以降に庁内検討委員会で検討し、策定するものとなります。

そのため、今回お示しするものにつきましては、前回の部会にていただいたご意見を踏まえ、庁内検討委員会で協議した結果をまとめた素案となります。

それでは、まとめていただいた素案について、関係部署である財政グループより説明していただきます。

(庁内委員_財政 G)

財源の確保については、人口減少や様々な課題が生じていく中において、自主財源の確保という部分は財政運営の肝になってくると認識しています。

そのため、市税等の自主財源の確保という言葉にとどまらず、様々な取り組みを進めていく必要があるという点は、委員の皆さんと同様の考え方を持っています。

主要な施策の考え方の記載内容については、市税収入に関しては、課税客体の適正な把握と収納率の向上に努め、市税収入の確保という内容としています。市税が自主財源の根幹となるため、第4期基本計画でも引き続き取り組んでいきたいと考えています。

加えて、使用料・手数料等の受益者負担の適正化を図るなどの取組についても不断に実施していく考えがあるため、考え方に加えています。

その他、広告料収入の拡充に努めるほか、新たな自主財源の掘り起こしと収入確保の取り組みも絶えず進めていく必要があること、自主財源という位置づけにはなりません。本市の貴重な財源になっているふるさと納税に関して、国の制度の動向等に注視しながら、ふるさとまちづくり応援寄附金や企業版ふるさと納税の寄付額の増加に向けた取り組みを推進していきたいと考えています。

また、活用の目処がない廃止した施設等の有効活用等に関しては、基本的な方向2－主要な施策「①市有財産や公共施設の適正な活用」で考え方を位置づけることとしています。

(事務局_企画調整 G)

次に、基本的な方向3－主要な施策「①各分野におけるデジタル化の促進」では、デジタル化を進めることは必要であるというご意見をいただきましたが、高齢者の方もデジタルに対応できるよう支援するような考え方が必要ではないかという意見がありました。

こちらについて、関係部署であるDX推進グループより説明していただきます。

(庁内委員_D X推進 G)

主要な施策「①各分野におけるデジタル化の促進」については、第4期基本計画から新たに追加された施策となります。

主要な施策の考え方についてですが、1点目、「デジタルの力を最大限に活用し、業務の効率化や生産性の向上を図るとともに、市民の利便性向上を図ります。」と記載しています。こちらは、第3期基本計画では主要な施策「①公平・公正な行政運営と持続可能な財政運営」の考え方に「広域による情報システムの開発、運用により、様々

な情報基盤の整備や事務の改善を図り、市民の利便性向上に努めます。」と記載していましたが、第4期基本計画では、先ほど説明した内容に内包することとしています。

2点目、「統計データの利活用による根拠に基づいた政策立案により、持続可能な行政経営に努めます。」と記載しています。こちらは、市で統計データ等を活用し、勘や経験ではなく、根拠に基づいて政策を立案するといった取り組みを進めているため、考え方に位置づけています。

3点目、「誰一人取り残さないデジタル活用となるよう地域情報化に努めます。」と記載しています。こちらは、前回の市民自治推進委員会の委員の皆さんからいただいたご意見を踏まえ、考え方に位置づけたものになります。

高齢者の方というご意見もありましたが、幅広い世代の方がデジタルを活用できるような表現として「地域情報化」という文言を使用して表現しています。

(事務局 企画調整G)

いま、ご説明しました「主要な施策の考え方」については、先ほどもご説明したとおり、現時点でのたたき台であり、要点をまとめたものとなります。具体的な文案につきましては、2月以降の庁内検討委員会でさらに協議を進め、令和7年7月頃に策定しますのでよろしくお願いいたします。

また、2月以降の庁内検討委員会での協議内容につきましては、節目節目に皆さんに情報提供させていただきます。

(部会長)

今、事務局よりご説明がありましたが、ご質問ございますでしょうか。

【意見等なし】

議題2 市民自治推進委員会～他部会の意見まとめ～

次に、議題(2)「他部会の意見まとめ」についてです。

総合計画第4期基本計画の第6章「担いあうまちづくり」に係る体系図及び主要な施策の考え方について、7月から様々なテーマに沿って協議を進めてまいりました。本日はこれまで協議してきた内容の振り返りとなりますが、その前に、他の部会でも同様に協議を進めていく中で第6章に関係するご意見がでていられるとのことですので、

その内容を踏まえて体系図または主要な施策の考え方に落とし込む必要があるか等、ご意見いただきたいと考えています。

他の部会のご意見について、事務局でまとめているとのことですので説明をお願いします。

(事務局_企画調整 G)

事務局より、他の部会から頂きました第6章「担いあうまちづくり」に関係するご意見についてご説明させていただきます。

1つ目、地域の担い手不足について、ぬくもり部会と育み部会より、町内会や地域の方々は地域福祉活動といった福祉分野や学校活動との連携といった教育分野の担い手となっていただいておりますが、人口減少や高齢化の影響によりこの担い手が少なくなってきた現状があります。ただ、今後においても様々な分野で地域の方々と連携した取組が必要であると捉え、地域力の底上げや持続性の取組を進める必要があるのではないかという意見がありました。

2つ目、若年層の移住・定住について、産業躍動部会より、若年層の市外への流出抑制の取組も必要であると捉えていますが、市内事業者の魅力を若年層に周知し、市外へ転出したとしてもUターンして本市に戻ってきてもらうことが必要ではないかという意見がありました。

次に、都市調和部会より、若年層が本市に住み続けられる場所や起業できる場所として、空家等を積極的に利活用してもらうために、空家等に関する情報の提供が必要ではないかという意見がありました。

先ほど部会長からもご説明がありましたとおり、これらのご意見に対する意見等をいただきながら、体系図の文言や主要な施策の考え方に落とし込むか等の議論をしていただければと思います。

以上で説明を終わります。

(部会長)

ありがとうございます。

いま、事務局からご説明がありましたとおり、他の部会から出ましたご意見等を踏まえ、皆さんからもご意見等いただきながら、第4期基本計画の体系図や主要な施策の考え方の文言等に落とし込む必要があるかなど、議論していきたいと思います。

それでは、1つ目、ぬくもり部会と育み部会からでました「地域の担い手不足」に関するご意見等を踏まえまして、皆さんからご意見等ありますでしょうか。

(委員)

ご意見については、教育分野等における子どもの見守り活動等も含まれていると思いますが、特に町内会に関するご意見ではないかと捉えています。

ただ、地域力の底上げというより、まずは、地域に人が入り込めることや若者から年配の方まで活躍できるような政策等について協議していく必要があるのではないかと思います。

そのため、若い世代をどのように町内会の活動に参画してもらうのかということが重要であると思います。いまの町内会は、高齢化が進み、高齢者の方の集まりになってしまっている部分もあろうかと思しますので、極力若い人たちを取り込むために、町内会活動がどうあるべきか議論できればいいのではないかと思います。

(部会長)

地域の担い手不足や町内会活動に若い世代が入り込めていないということはどの市町村でも課題となっているのではないかと思います。

(委員)

町内会活動に携わっていますが、数十年間、役員が変わっていない現状があります。また、町内会のイベント等も参加される方も概ね役員の方と同じ年齢層の方々が参加しているため、先ほど委員からご意見があったとおりだと思います。

ただ、若い世代を取り込むにあたっては、いまの若い世代は共働きがほとんどであり、日中の活動に参加することができないことや夜の活動でも小さいお子さんがいるため、参加が難しいといった問題があります。

そのため、今後、町内会の活動について、どのようにしていくのか難しい問題であると捉えています。検討していくことは重要であると思います。

(委員)

ある町内会では、子どもたちを巻き込むような取り組みを進めていました。

中学生が子ども育成部の副部長に任命した際には、子ども同士の繋がりや、お祭り等のイベントに子どもたちとその保護者が参加するといったことがありました。

子どもたちやその保護者をイベント等に引き込むために、町内会の役員構成についてもしっかりと考え、色々な繋がりをもてるようにすることが必要ではないかと思えます。

(委員)

地域の担い手不足については、高齢化もありますが、70歳の方でも働いている等によることも理由にあると思います。

今、連合町内会では、各町内会との統合等も視野に入れた見直しを進めているほか、町内会の活動も併せて見直しを図る等の検討をしているところです。

地域をコンパクトにして、負担の少ない地域社会をつくるために、どうすべきなのか考えていく必要があると思っています。

(委員)

若い世代にとっては、各町内会がどのような活動を行っているのか把握できていないのではないかと思います。また、地域の担い手が不足しているという実感も湧いていないのではないかと思います。

(委員)

町内会の役員が不足しているという相談を受けることもあります。

そういった時には、若い世代が入りやすい環境をつくることや若い世代に町内会への参画等の声かけをしてもらうように促しています。

(部会長)

今まで、様々なご意見をいただきましたが、第4期基本計画に文言として落とし込

む必要があるでしょうか。

(事務局_企画調整 G)

これまでの議論を踏まえますと、他の部会から出たご意見でしたが、町内会の担い手の育成をしなければならないという点では共通しているのではないかと思います。

基本計画においては、町内会が自ら取り組む担い手の育成に関する活動について、市としてどのように支援していくのかという点を考える必要があると思います。

そのため、例えば、主要な施策「①個人、団体間の連携によるまちづくり活動の活性化」の考え方に、「今後のまちづくりを担っていく人材育成等に努めます。」という文言があり、この部分に「連合町内会の活動を支援し、地域活動の中心となる町内会の後継者の育成に努めます」というような文言を加える等の案があるのではないかと思います。

こちらについては、庁内検討委員会で文案等を検討させていただきたいと思います。

(部会長)

2つ目、産業躍動部会と都市調和部会からでました「若年層の移住・定住」に関するご意見等についてですが、こちらについても文案等を検討していただくということでもよろしいでしょうか。

(事務局_企画調整 G)

若年層の移住・定住については、第3節に位置づけられている主要な施策「①移住・定住の推進」に関係するご意見であるため、ここで検討したいと思います。

議題3 第4期基本計画の体系図(案)の振り返りについて

(部会長)

次に、議題(3)「第4期基本計画の体系図(案)の振り返り」についてです。

第4期基本計画の体系図(案)について、各協議テーマごとに委員の皆さんからご意見等いただき、また、その意見等を踏まえて市の庁内検討委員会でも協議していただきました。

今までの協議結果等を踏まえ、第6章「担いあうまちづくり」の体系図の最終案について、事務局でまとめているとのことですので、ご説明をお願いします。

(事務局_企画調整 G)

事務局より、第6章「担いあうまちづくり」の体系図の最終案について、当初、事務局よりお示しした第4期基本計画体系図(案)から皆様のご意見等を踏まえて変更した箇所を中心にご説明します。

第1節の協議テーマ「協働」について、施策Ⅰ－基本的な方向1－主要な施策「②市民参画の仕組みの構築」とお示ししていましたが、「仕組みの構築」という文言が一から作り上げるものに捉えられ、市民自治推進委員会等、すでに構築されている仕組みもあることから変更してはどうかというご意見をいただきました。

ご意見いただいたとおり、第3期基本計画の期間中において市民参画の仕組みを作り上げてきており、次の10年間ではその仕組みを推進することが必要であると考え、主要な施策「②市民参画の推進」に変更しました。

次に、施策Ⅱ－基本的な方向1－主要な施策「①団体間の連携によるまちづくり活動の活性化」とお示ししていましたが、まちづくり活動の活性化には団体間の連携に限らず、個々の活動もまちづくりの活性化に繋がっているため、「個々の活動」を含むような文言に変更してはどうかというご意見をいただきました。

ご意見いただいたとおり、個々の活動もまちづくりに繋がっていると考え、主要な施策「①個人・団体間の連携によるまちづくり活動の活性化」に変更しました。

続きまして、第2節の協議テーマ「国内外交流」、第3節の協議テーマ「移住・定住」「行財政運営」については、当初お示しした体系図(案)の文言の承認をいただきましたので、変更していません。

以上で第6章の体系図の最終案について説明を終わります。

(部会長)

ありがとうございます。

事務局より説明のありました第6章「担いあうまちづくり」の体系図の最終案につ

いて、ご意見等ありますでしょうか。

【意見等なし】

議題4 主要な施策の考え方（案）の振り返りについて

（部会長）

次に、議題（4）「主要な施策の考え方（案）の振り返り」についてです。

各協議テーマごとに委員の皆さんから主要な施策の考え方に関するご意見等いただき、また、その意見等を踏まえて市の庁内検討委員会でも協議していただきました。今までの協議結果等を事務局でまとめているとのことですので、ご説明をお願いします。

（事務局_企画調整 G）

事務局より皆さんからいただいたご意見等を踏まえて変更した主要な施策の考え方を中心にご説明させていただきます。

第1節の協議テーマ「協働」について、施策Ⅰ－基本的な方向1－主要な施策「①まちづくりの基本理念の定着」の考え方についてですが、定着に向けて、より具体的かつ、わかりやすい方法による周知・啓発が必要である等のご意見がありました。

これを踏まえまして、周知・啓発の方法を限定したものではなく様々な媒体を活用して周知・啓発することで定着を図る必要があると捉え、「様々な媒体を活用して」という文言を追加しました。

次に、施策Ⅱ－基本的な方向1－主要な施策「①個人・団体間の連携によるまちづくり活動の活性化」の考え方についてですが、第3期基本計画の「国内外の理念を活用した人材育成」という部分は、市民活動団体の人材育成等の支援となるのではないかというご意見、市役所機能の集約に併せた市民活動団体の活動変化等について記載するのどうかというご意見、市民活動団体が地域活動に入り込むための支援に関する内容を記載するのはどうかというご意見がありました。

これを踏まえまして、「国内外の理念を活用した人材育成」の部分は削除した上で、「今後のまちづくりを担っていく人材育成等」に変更したほか、市民活動団体が地域

に入り込むための支援については、必要であると捉え「市民活動団体や町内会などが連携することにより地域のコミュニティ活動の活性化を促します。」とわかるような表現に変更しました。

また、市役所機能の集約に併せた市民活動団体の活動変化等については、現時点では考え方に記載することは難しいという判断で追加していませんが、基本計画策定までに方向性等が見えてきている場合には考え方への記載等の調整を図っていきたいと考えています。

次に、第2節の協議テーマ「国内外交流」について、施策Ⅰ－基本的な方向1－主要な施策「①姉妹都市交流等の推進」の考え方についてですが、姉妹都市交流等の取組の市民への周知・啓発に関するご意見、連合町内会の交流についてのご意見がありました。

これを踏まえまして、「姉妹都市をはじめとした都市間交流の意義や取組などについて市民周知に努めます。」という文言を追加したほか、連合町内会の交流については、「民間による文化交流など」という文言を「民間団体による市民・文化交流など」とわかりやすい表現に変更しました。そのほか、児童生徒の交流はスポーツに限らず、教育に関する交流を実施していることから「教育交流」という文言を追加しました。

次に、施策Ⅱ－基本的な方向1－主要な施策「②海外との交流を通じた豊かな人材育成」についてですが、デンマーク友好都市中学生派遣交流事業という歴史ある事業を特だしして記載するのはどうかというご意見がありました。

こちらについては、友好都市への派遣交流事業はデンマークに限らないことから、デンマーク友好都市中学生派遣交流事業を特だしせず、「友好都市等への中学生の海外派遣」という文言を追加しました。そのほか、細かな部分も併せて修正しています。

次に、基本的な方向2－主要な施策「①外国人住民の社会参画の推進」についてですが、外国人観光客が多く訪れることを踏まえた市民ホスピタリティの向上や地域への影響について記載するのはどうかというご意見がありました。

こちらについては、外国人観光客へのホスピタリティの向上は第3章「産業躍動部会」で議論することとしています。また、この主要な施策では外国人観光客としての滞在から居住する外国人住民の定住の推進に関する取組となることから考え方に外

国人住民が住み続けられるまちづくりの推進という内容に一部変更しました。

次に、第3節の協議テーマ「移住・定住」について、施策1－基本的な方向1－主要な施策「①移住・定住の推進」についてですが、移住を推進するターゲットを3大都市圏以外も考えられるのではないかというご意見、移住・定住する地として選ばれる理由の「子育て」等に関する内容を記載するのはどうかというご意見がありました。

これを踏まえまして、3大都市圏以外も移住を推進するターゲットとすることがわかるよう「首都圏や各地域の主要都市」と文言を変更しました。また、移住・定住する地として選ばれる理由は「子育て」以外にも「雇用」「住まい」等も考えられることから「雇用」や「子育て」、「住まい」など、それぞれのニーズに合わせた市や民間の取組に関する情報提供に努めます。」と文言を追加しました。そのほか、移住体験ツアーに関する内容や若年層の定住促進に関する内容を追加しました。

次に、主要な施策「②関係人口の創出・拡大」についてですが、新たな考え方である「関係人口」という文言がわかりにくいというご意見がありました。

これを踏まえまして、「移住に向けた裾野の拡大を図るため、地域外人材や市内団体等と連携し、移住に至るまで、または移住に至らないものの地域や地域の方と継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大を図り、地域課題の解決や地域活性化に努めるとともに、その移住促進に努めます。」と「関係人口」が何かがわかるような記載内容としました。

第3節の協議テーマ「行財政運営」については、先ほどの議題（1）で説明したとおりとなります。

以上でご意見等を踏まえ変更した主要な施策の考え方について説明を終わります。

(部会長)

ありがとうございます。

事務局より説明のありました変更した主要な施策の考え方について、ご意見等ありますでしょうか。

(委員)

主要な施策「①広報広聴活動の推進」の考え方について、第3期基本計画の文言には「市長や部長職等が」とありますが、例えば、「市長をはじめ市職員が」という文言にした方がいいのではないかと思います。

市職員全体でまちづくりを考えていくことがわかるような表現にすることがいいのではないかと思います。

(委員)

地区懇談会に出席される方の中には普段会う機会のない市長等から意見を聞きたいということがあります。その他の市職員については、例えば、地域の懇談会に出席してもらうように促すことがいいのではないかと思います。

(委員)

主要な施策「②関係人口の創出・拡大」の考え方について、「関係人口」という文言がわかりにくいという意見に対して、「関係人口」が何であるのか具体的に記載していただいています。考え方に改めて「関係人口」という文言があるため、この文言を使用しないような表現にすることもいいのではないかと思います。

(部会長)

各委員より様々な意見がありましたので、これらを踏まえて庁内検討委員会で検討していただければと思います。

本日の議題は以上となりますが、最後に、事務局より連絡事項があるとのことですので、よろしくお願いします。

(事務局_企画調整 G)

他部会から出た意見の取扱いや振り返りの中で出たご意見についてですが、庁内検討委員会で持ち帰り検討させていただきますが、本来であれば市民自治推進委員会まちづくり部会をもう一度開催し、検討した結果を報告することになるため、先にスケジュールでお示ししている予備日で再度開催することもできるかと思います。

ただ、2月上旬に市民自治推進委員会の全体会議があり、その場で全体の報告をさせていただきます。その際に本日いただいたご意見等の検討結果を報告することも可能と考えています。

どちらの形式とすべきかこの場でご意見いただければと思いますがどうでしょうか。

(部会長)

いま、事務局よりご説明がありましたが、皆様のご意見はどうでしょうか。

(委員)

市の庁内検討委員会で協議していただいた結果は市民自治推進委員会の全体会議で報告していただくことでいいかと思います。

(部会長)

市民自治推進委員会の全体会議で報告していただければと思います。

(事務局_企画調整G)

本日いただいたご意見等を踏まえて、庁内で検討した結果は市民自治推進委員会全体会議で報告させていただきます。

改めて、本日で総合計画第4期基本計画の第6章「担いあうまちづくり」に関する体系図(案)の協議が終了となります。

委員の皆さんにはお忙しい中、おおよそ月1回のペースで本部会にご参加いただき、各協議テーマに沿って様々なご意見等いただきました。改めて、御礼申し上げます。

今後のスケジュールについてですが、委員の皆さんからいただいたご意見を踏まえて作成した体系図案を庁内検討委員会まちづくり部会にて、改めて確認等させていただくとともに、本日いただいたご意見等について検討させていただきます。

その後、2月上旬に開催を予定している市民自治推進委員会全体会議にて、総合計画第4期基本計画の全体の体系図(案)のご報告をさせていただき、市の庁内検討委員会で諮り、体系図の確定となる予定です。

体系図の確定後については、主要な施策の考え方や総合計画第4期基本計画内の具体的な文案を市民自治推進委員会の皆さんからいただいたご意見や前回からの社会情勢の変化、今後10年間に予想される事象等を勘案しながら庁内検討委員会の各部

会で議論し、令和7年7月頃を目標に作成します。

また、2月以降の庁内検討委員会での協議内容につきましては、節目節目に皆さんに情報提供させていただきます。

(部会長)

ありがとうございます。いまの連絡事項も含めて、最後に委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

【質問等なし】

(部会長)

これで市民自治推進委員会まちづくり部会を終了いたします。